

よこはま 農委だより

第54号
2025年3月1日

発行／横浜市中央農業委員会・横浜市南西部農業委員会



- 農政活動協力金
- 委員紹介
- 市長への意見提出
- 農業委員会活動のPR
- 横浜市からのお知らせ

タケノコみい一つけた! (舞岡ふるさと村)

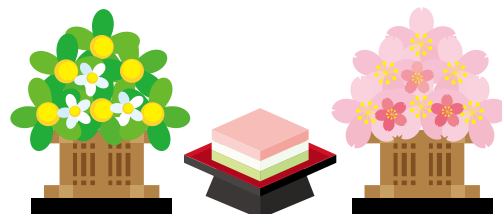
- 神奈川県農業委員会活動推進大会

令和6年度農政活動協力金のお礼(御報告)

神奈川県農業会議の農政活動協力金につきましては、今年度も多くの皆様に御協力いただき、誠にありがとうございました。本協力金は、県農業会議の農政対策活動に充てられるとともに、横浜市農業委員会連合会にも助成金として交付され、本紙の発行等に活用させていただいております。今後も、横浜における農業の振興に向け関係団体と連携し、委員会活動の一層の推進に努めて参ります。

中央農業委員会
1,583,400円

南西部農業委員会
1,044,000円



令和5年度横浜市農業委員会連合会決算

収入	当年度小計	1,734,306	(会費、協力金等)
	前年度繰越	4,510,000	
	(単位: 円)	合計 6,244,306	

支出	当年度小計	2,001,296	
	事務費	70,297	(消耗品代等)
	会議費	128,051	(会場借上げ代等)
	事業費	1,573,088	(農委だより発行代等)
	分担金	10,715	(県農業会議会費)
	雑費	219,145	(委員会関係用品代等)
	次年度繰越	4,243,010	

(単位: 円) 合計 6,244,306

委員紹介

本農委だより第51号
～第57号で全委員を
ご紹介していきます。

凡 例	(委員会名) 氏名
	【農】 農業委員
	【推】 農地利用最適化推進委員
	①主な営農地域 ②主な作物 ③ひとこと

中央 金井 健【農】

- ①鶴見区馬場三丁目
- ②露地野菜
- ③露地野菜の少量多品目栽培をしており、鶴見区内での直売と、学校給食への納品を行っています。鶴見区は生産緑地も多く、露地野菜栽培が活発な地域です。農業委員として、地域農業者のために頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



中央 杉崎 精一【農】

- ①緑区長津田町
- ②露地野菜・水稻
- ③私の担当地区である長津田町は農業専用地区や、生産緑地があるなど農業者の営農形態は多様です。そのような地域特性に合わせて、多様な情報を得ながら、地域の農業委員としての役目を果たしていきたいと思っています。



中央 菅沼 進【農】

- ①都筑区佐江戸町
- ②果樹
- ③都筑区佐江戸町と緑区北八朔町を中心に果樹を栽培しています。安定した農業経営と、活力ある農業があってこそその横浜であると考えています。「子どもに残そう緑の横浜」を合言葉に、活動していきたいと思っています。



中央 金子 晴男【推】

- ①青葉区寺家町
- ②露地野菜・水稻
- ③トマトやナス等の露地野菜を中心に栽培しており、新鮮な野菜を直売しています。私の担当地区は農業者の高齢化が進んでおり、地域営農者の声を聞きながら、遊休農地の発生防止や担い手対応にお役に立てればと思います。



中央 河原 俊一【推】

- ①旭区桐が作
- ②露地野菜
- ③露地野菜を中心に、横浜農協の直売所に家族で出荷しています。有機栽培・減農薬で美味しい野菜作りを目標にしています。農地利用最適化推進委員として、地元農業者の良き相談相手になれるよう努力していきたいと思っています。



南西部 石井 勝則【農】

- ①泉区和泉町
- ②露地野菜
- ③私の担当する地区においても徐々に都市化が進み、農業経営に大きな変化が見られます。様々な情勢の変化が進む中で農業の重要性は高まりつつあり、次世代のためにも環境整備に少しでも貢献したいと考えます。



南西部 石井 豊【農】

- ①泉区上飯田町
- ②植木
- ③担当の上飯田・下飯田地区は、横浜市の中でも農業生産の盛んな地域です。私は自宅のある上飯田を中心に、大和市・藤沢市でも植木を生産している県域認定農業者です。6.8ヘクタールの畑で、主に生垣材の生産を行っています。



南西部 田邊 実【推】

- ①磯子区上中里町
- ②露地野菜・施設野菜
- ③今期より農地利用最適化推進委員となりました。私の担当地区である磯子では、農業専用地区や生産緑地などがあり、色々な問題を抱えていると思っています。地区の方々と協力しながら委員会の活動に取り組んでまいります。



南西部 角田 雅久【推】

- ①栄区上郷町
- ②露地野菜
- ③新たに農地利用最適化推進委員となりました。現地確認の折に、管理の行き届いた圃場から多くを学んでいます。今後も野菜の直売等を通じて、身近な所から農業の魅力と地産地消のメリットを発信していきたいと思っています。



農業委員会の活動紹介

山中市長に「横浜市農業施策に関する意見」を提出



山中市長に意見を提出する農業委員会連合会理事

横浜市農業委員会連合会は、昨年10月29日に山中竹春横浜市長を訪問し、「令和7年度横浜市農業施策に関する意見」の要望書を提出しました。連合会からは6名の理事が出席し、都市農業の更なる振興や発展に関して、一人ひとりが実体験を交えて要望しました。

山中市長からは、日頃から横浜の農業振興に向けて御尽力をいただいていることへの感謝とともに、農業委員会の皆様と一緒に、横浜の農地保全や農業振興に力を尽くしていきたい旨のコメントがありました。

主な意見

- 地域計画に係る情報共有や河川の洪水対策等、農地の保全と有効利用対策に関すること
- 農に係る情報発信や土砂流出対策への補助等、担い手・経営対策に関すること など

※紙面の都合上、一部を要約しています

神奈川県農業委員会活動推進大会が開催

昨年11月6日に「令和6年度神奈川県農業委員会活動推進大会」が、横浜関内ホールにて開催され、県内の農業委員と農地利用最適化推進委員、事務局職員など約550人が出席しました。

県内農業委員会の功労者への永年表彰や近年の農業委員会にまつわる情勢報告、農業施策に係る県への要望事項の決議等がされました。



大会の様子

主な要望

- 推進体制の構築支援等地域計画の実現に向けた支援に関する要望
- 法令違反に対する具体的かつ効果的な措置等農地の総量確保と適正利用の確立等に関する要望

※紙面の都合上、一部を要約しています

農業委員会の活動をPR！



市内産農産物のぬり絵にチャレンジ

昨年11月に開催された農と緑のふれあい祭り（横浜市主催）と横浜農協きた地区JAまつり（JA横浜主催）において、農業委員会の活動について市民の皆様へPRするためのブースを出展しました。

チラシ配布やパネル展示によって農業委員会の活動や役割を紹介するとともに、お子様に向けては市内産の野菜や果物に親しめるよう、ぬり絵を楽しめる参加型の広報活動を行いました。

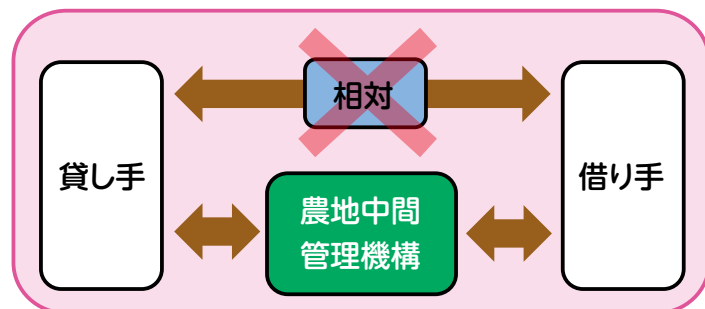
横浜市の農業委員会について、知っていただくきっかけとなりました。

利用権による農地貸借を行っているみなさまへ

農業経営基盤強化促進法等の一部を改正する法律(令和5年4月1日施行)により、農地の貸し借りの仕組みがこれまでの「利用権」から「農地中間管理事業」に一本化されます。

なお、現在設定中の利用権は変わらず、更新の時に順次「農地中間管理事業」へ移行します。

※生産緑地は引き続き、都市農地の貸借の円滑化に関する法律による貸し借りが可能です。



○農地中間管理事業とは

農地中間管理事業の推進に関する法律に基づき、貸し出しを希望する農地を農地中間管理機構(公益社団法人神奈川県農業会議)が借り受け、農業の担い手へ貸し付ける事業です。

○地域計画※への登載

「農地中間管理事業」で農地の貸し借りをを行う際、新たに地域計画への登載が要件となります。登載の手続きは、貸し借りの手続きと一緒にを行います。

※地域計画:地域の将来の農業の在り方、将来の農地の効率的かつ総合的な利用に関する目標等を定めたものです。

問合せ先 (これまでどおり、各農政事務所にて手続きに関する相談を受け付けています)

・北部農政事務所 TEL 948-2478 FAX 948-2488 ・南部農政事務所 TEL 866-8491 FAX 862-4351

盛土規制法が始まります!

農地造成を行う前にチェック!



横浜市では、令和7年4月1日(予定)から市の全域において土地の用途(宅地、農地、採草放牧地又は森林)にかかわらず、一定規模以上の盛土・切土・土石の堆積を行う場合は、工事に着手する前に許可が必要になります。

例えばこんな時…

土を盛りたい

水田を畑にしたい

傾斜を改善したい

土を入れ替えたい

従来の手続き

- 農地の造成承認
- 農地の一時転用許可

たい肥を大量に施用する場合もご相談ください

+ 新たな手続き

- 盛土規制法の許可

4月1日以降に着工するものはご相談ください

が必要になる場合があります

農地の造成に関する問合せ先

中央農業委員会事務局 TEL:948-2475
南西部農業委員会事務局 TEL:866-8495
みどり環境局農政推進課 TEL:671-2726

盛土規制法に関する問合せ先

市街化調整区域 : 建築局調整区域課 TEL:671-4521
市街化区域 : 建築局宅地審査課 TEL:671-4515~4518



盛土規制法に関する横浜市ウェブサイトはこちら↑